

肺炎球菌感染症(高齢者)について

○肺炎球菌感染症とは？

肺炎球菌という細菌に感染することで起こる感染症のことです。成人では、その名のとおり「肺」に感染して「肺炎」を起こすことが多いのですが、他に、敗血症、髄膜炎などを起こすこともあります。肺炎球菌は、莢膜(きょうまく)という分厚い膜に包まれており、からだの免疫からの攻撃に強く、退治するのが難しい細菌です。そのため、肺炎球菌感染症は重症化しやすく、現代でも危険な感染症です。

○どのように感染するの？

肺炎球菌は、主に鼻や喉に棲みついており、咳やくしゃみによって周囲に飛び散り、それを吸い込んだ人へと広がっていきます。



○肺炎にかかるとどうなるの？

肺炎による死亡率は、65歳を過ぎると年齢とともに上昇します。肺炎の主な症状は**発熱、咳、たん、息苦しさ、胸の痛み**、などで、風邪とよく似ており、症状から見分けることは難しいのですが、両者はまったく異なる病気です。体力、免疫力が低下した高齢者では、症状が急激に進行し、命に関わることもあります。

また、

- ・入院により足腰の筋肉が衰える
- ・入院により認知症になる可能性がある
- ・糖尿病の方は、その症状が悪化する
- ・心臓の病気(心筋梗塞等)や脳卒中にかかりやすくなる

ことも報告されており、肺炎球菌感染症は治癒しても、その後の生活を大きく変えてしまう可能性があります。

風邪のような症状がある、体調がおかしい、元気がないなど、いつもとは違う様子で気になる場合には、早めに医療機関に相談しましょう。

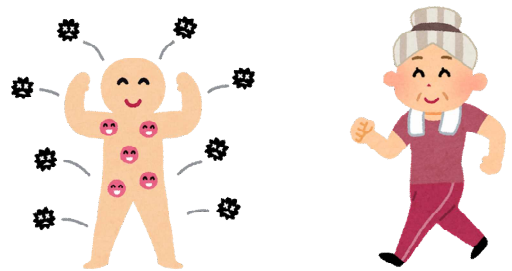


○肺炎を予防するには？

- うがい、手洗い、マスクの着用、歯磨きなどで口腔内を清潔に保つ、誤嚥(ごえん)を防ぐ。
- 予防接種を受ける。

(平成26年10月1日から、高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンが定期接種となりました。)

- 免疫力を高める。
→免疫力とは、からだの外から侵入してきた細菌やウイルスを退治する力です。食事、睡眠などをきちんととる規則正しい生活、持病がある方はその治療をしっかりと行うこと、禁煙すること(たばこは免疫力を低下させ、気管や肺にも悪い影響を及ぼします)を心がけましょう。



○高齢者肺炎球菌ワクチンとは？

肺炎球菌による肺炎などの感染症を予防し、重症化を防ぎます。接種間隔が短くなると、局所の副反応(接種部位の赤み、痛み、腫れなど)が強くなることもあるため、5年以上の接種間隔をあげる必要があります。

高齢者肺炎球菌に関するリンク先

- 令和3年度高齢者肺炎球菌予防接種を受けましょう(津山市)

<https://www.city.tsuyama.lg.jp/life/index2.php?id=8239>

- 高齢者肺炎球菌について(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/haienkyukin/index_1.html

- 高齢者肺炎球菌について(日本感染症学会)

https://www.kansensho.or.jp/modules/guidelines/index.php?content_id=38

お問い合わせ先：津山市健康増進課

TEL：0868-32-2069